

対象地域	対象地域の特性
神戸市 長田区 新長田 南部地区	対象地域は阪神淡路大震災の復興事業の網がかからなかったことで、管理不全状態に陥っている空き地がモザイク状に点在する。また未接道・狭小地という地域特有の課題に加え、権利共有・相続未登記・不在権利者の課題があり、所有者不明等へ陥る環境が依然続いている。

地域が抱えている課題
管理不全空き家・空き地の集積による地域の荒廃・活力が低下している。 無関心、未登記、未測量、権利複雑、所有者不明等、土地活用の障壁が多数。 また、狭小地、未接道など密集市街地の課題も存在する。 空き家予備軍への対策不足、相続人不存在・相続放棄も課題である。

主な取組内容
●おさんぽ畑（空き地の暫定活用化（菜園化）支援）の横展開・社会実験としての経過記録 ●空き地所有者等意向調査等（管理コストの状況、活用・処分意向について） ●まちなかガーデンネットワークの立ち上げ・運営 ※今後管理不全の課題が目立ってくるであろう「まちなか防災空地」の支援ネットワーク構築 ●民間型空き家空き地バンクのスキーム構築～試験運営 ●個人の土地問題を地域の住環境改善につなげる立場としてのNPO法人設立 ●地域包括ケアと連動した「空き家空き地地域連絡会」の本設・運営

事業内容・スキーム

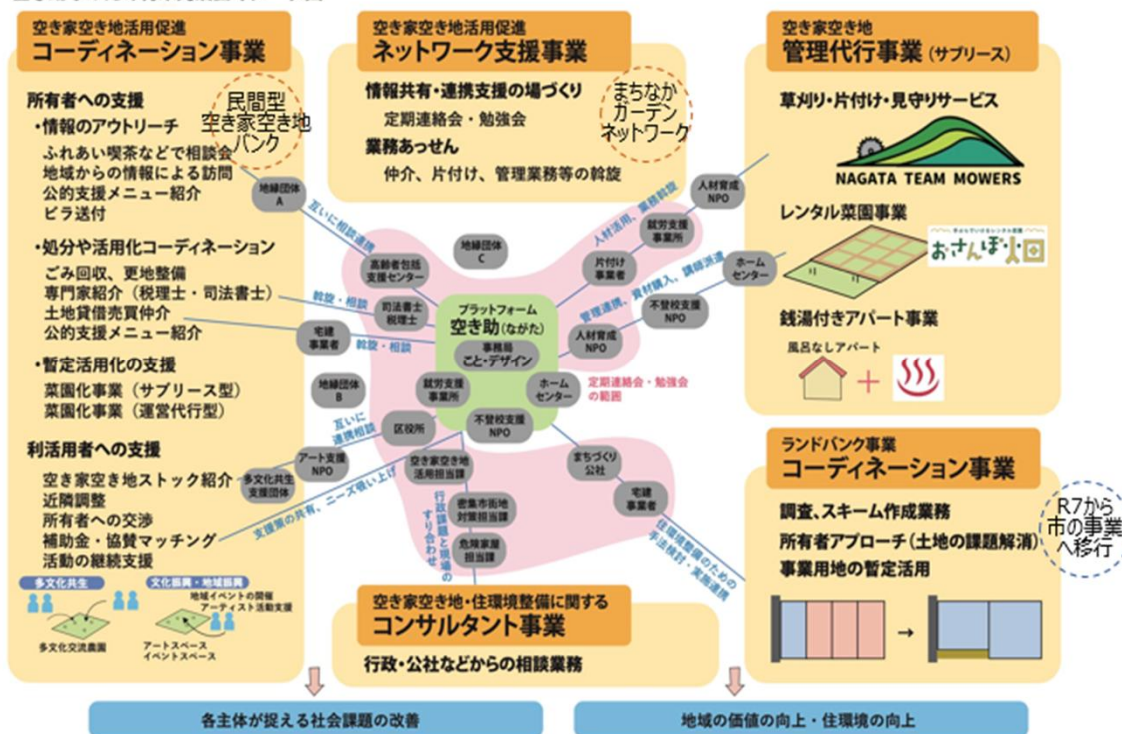
○地域密着型プラットフォームの運営・経過記録

- ①おさんぽ畑の経過記録
- ②空き地所有者等意向アンケート等
- ③まちなかガーデンネットワークの立ち上げ・運営
- ④民間型空き家空き地バンクのスキーム構築
- ⑤個人の土地問題を地域づくりに生かすNPO法人設立

○地域包括ケアとの協調および空き家予備軍、相続人不存在、相続放棄に関する検討

- ①地域包括ケアと連動した「空き家空き地地域連絡会」の本設・運営（年数回の定期開催へ）
- ②空き家予備軍・相続人不存在・相続放棄など対策のための先行した取り組み研究

空き助ながたの将来的活動イメージ図



対象エリア



課題の例（震災後手つかずの空き地が点在）

モデル事業による取組成果

おさんぽ畑の横展開

今年度、新たに1拠点の新規の運用を開始。
また、横展開を進め、来春2拠点を運用開始予定で、計5拠点に。

空き地所有者等意向調査等

空き地所有者意向調査（アンケート）の実施し、取組への関心度を確認した。1件、活動に関心を持った旨の回答をいただいた。

「まちなか防災空地」の支援ネットワーク構築

自治会や近隣の社会活動団体（障害者就労継続支援B型事業所）とともに、地域の防災空地や管理不全地の草刈り・点検を実施、また刈り草やおさんぽ畑の管理残渣などを堆肥化などの活動を実施。（まちなかガーデンネットワーク）

空き家空き地地域連絡会の立ち上げ準備

地域包括支援センター、民生委員等の福祉関係者と土業等の専門家、行政等と連携した地域の空き地等に関する情報共有の場を今後の定期開催に向け、試験開催を2回実施。本設に向けた立ち上げ準備も実施した。